

知ることかわる未来 ～イエメンの今～



日時： 11月30日（土）
15:00～17:00

場所： comm cafe
（箕面市小野原西5-2-36）

定員： 20名

参加費： 一般500円
別途、ワンドリンクの注文が必要

＼ご予約はこちら／



*参加費は国境なき医師団へ寄付します。

1971年に設立され、アジア・アフリカ・南米などの途上国を中心に緊急医療支援を行っている国際団体“国境なき医師団”。世界各地から毎年5万人近いスタッフが70カ国以上の国々に派遣され、紛争や自然災害、貧困など様々な理由で医療を受けることができない人々へ医療行為を行っている。日本からも毎年約100名のスタッフが派遣されている。

また、国境なき医師団は、活動資金の8割を民間からの寄付が占めることで、他の団体に比べより中立・公正な立場で人道活動を遂行することに重きを置いている組織です。

過去に、パレスチナ・ガザ地区、イラン、マラウイ、アフガニスタン、南スーダンと経験を積み、イエメンでの赴任期間を終えて帰国された佐藤真史さんに、国境なき医師団の手術室で経験されたこと、日本国内で報道されることのないイエメンの現状や現在の世界情勢について話していただきます。

お話： 佐藤真史さん（手術看護師・国境なき医師団）

立命館大学国際関係研究科修了 2006年赤十字看護専門学校卒業後、病院勤務などを経て2017年より国境なき医師団に参加。パレスチナ・ガザ地区、アフガニスタン、南スーダンなどで経験を重ねている。

©shinji sato/MSF



現地スタッフと



海外派遣スタッフとの
パーティで



勤務していた病院

主催：箕面市立多文化交流センター
指定管理者：公益財団法人箕面市国際交流協会
TEL: 072-727-6912 Mail: info@mafga.or.jp HP: https://mafga.or.jp/